

五省会ニュース

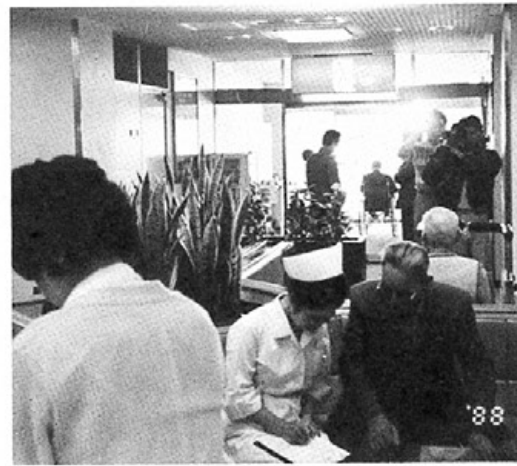
発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省

- 一 至誠 悔るなかりしか
- 一 言行 恥るなかりしか
- 一 気力 怠るなかりしか
- 一 努力 憾みなかりしか
- 一 不精 怠るなかりしか

県下各地から、感謝の来院

一 休日診療・患者さんの声



休日診療の、日曜日に待合室を撮影する富山テレビの取材班

「喜んでおります」
お年寄りが息子や孫の車で

西能病院の「外来休日診療」（整形外科、リハビリ、内科）が四月三日からスタートした。必要などき、何時でも診察が受けられるようにとの願いで、地域社会に愛される病院が目的である。五月十五日までの日曜七回、祝祭日四回の計十一回の状況をみると、県下各地から多くの患者さんが来院、口をそろえて、「喜んでる」「都合がいい」「有難いことだ」と感謝の気持ちをあらわしている。

「休日診療」の反響としては「病気に休みはない」との趣旨が新聞やテレビで浸透したこともあり、県下各地から患者さんが足を運んでいる。患者さんの声を拾ってみると、目立っているのは、からだの不自由なお年寄りたちが、休日でも家から息子や孫の車に乗せてもらって来院。それで病院の駐車場は満杯である。入善町から足の不自由な三人連れのお年寄り（女性）が高速道路を自家

用車で。一人が「わしたちは足の都合が悪いので、うちの息子の車でまじした。喜んでます」
新湊市の男性（七七）も息子の車で、「いままではハイヤーでした。休みの息子が協力してくれてるので大助かり」
八尾町の女性（七一）、福野町の女性（八八）は、孫の車で来院。「有難いことです」
滑川市の山手からきた女性は乗りつぎ、地鉄滑川駅までは夫の車。電車で富山駅、そしてハイヤーで病院に到着。
富山市の女性（七四）は神経痛が持病。急に腰が痛くなり、かけつけた。「急な場合に都合がよく、お蔭で助かりました」
富山市の女性（七四）は「本当にホッとしました」
富山市の女性（七四）は「急な場合に都合がよく、お蔭で助かりました」
富山市の女性（七四）は「本当にホッとしました」

休日診療

西能 正一郎

四月、五月と非常に休日の多い月で、この二カ月だけで十三日間の休日が数えられます。それに四週六休、四週八休などが加わり、四分の一が休みということになります。これを目標にたわけてはなかつたのですが、昭和六十三年（四月）から始めた休日診療体制は、スタートから大きな試練を受けることになりました。

予想以上に必要な方が多かつた
病院の活性化と団結に良い効果

マスコミの各社から暖かい報道のご援助をいただきました。この五省会ニュースでもお知らせしましたので、地域の皆様から、予想以上に新しい診療体制のご理解をいただきました。又、沢山の方々から、励ましのお便りやら、お電話などおいただきました。しかし、現実にはどうなつてゆくのか、やってみなければ皆目見当のつかないことへの挑戦であります。

「自己満足しているだけで、ほんとに患者さんにご利用いただけるのであろうか、開店休業のように

「新湊市の男性（五六）は「勤め人にとって、まことにいいことだ。なるだけ休日に来たい」
魚津市の男性（二四）は「これから休日にくる。勤めを休みたくなさ。富山市の女性（六六）は夫の車で来院。「自営業で、日曜日が休みなので安心してこれます」
事故などの急な場合にしてみると、小杉町の少女（五つ）はコンクリートの上に落ち頭を強打し自家用車で、すぐ救急室で応急手当。家族は「本当にホッとしました」
富山市の女性（七四）は「神経痛が持病。急に腰が痛くなり、かけつけた。」「急な場合に都合がよく、お蔭で助かりました」
富山市の女性（七四）は「本当にホッとしました」

あすなろ

作家の井上靖氏が、ある会合でしみじみといったことがある。「大勢の人が歩いてる街角でふとこんなことを考えた。」

ここにいては、老人も子供も、あと百年したら一人もいなくなるだろう。だから人類の長い歴史の中で、今生きている人たちは同世代の縁で結ばれているのだ。▼サン・テグジュペリの名作「星の王子さま」の中で王子さまにめぐり合ったキツネがこんなことをいう。あなたは、ほかの十万人の男の子と同じ男の子にすぎない。あなたの目から見ると、おれもやはり百万ものキツネと同じだ。しかし二人が今仲よくなると、おれもおれも、お互いにこの世でたつたひとりの、かけがえのない間柄になるんだよ。▼この二つの話は実は同じことについている。人はそれぞれに、自分の家庭や職場や地域や友人を持っています。それは地球上の広大な空間と時間の中から選ばれた不思議な縁である。▼茶道ではこれを「一期一会」と呼ぶ。今と全く同じ条件で一杯の茶を、ともにいただくことは二度とない。だからこのたった一度の縁を大切に全身全霊を尽くすという心が通じ合う。すべての活動はそこから切り開かれる。坂本竜馬はいう。「大事をなすのは人との出会いだ」自分のことも、世界のことも。

信頼と奉仕

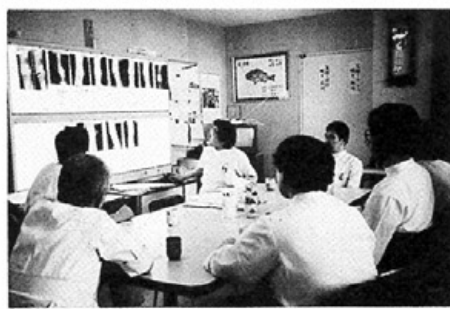
新人16人の抱負

院長の主旨に賛同し、仕事なしでも存在可能な院長と異なり、強烈な意志の西能院長の主旨に私なりに賛同し誠意を尽くしたい。（診療部 吉野 武）
使命を果たす。四月から西能病院でお世話になっている。地域に根ざした第一線病院としての使命を果たすため頑張りたい。（診療部 伊嶋正弘）
貢献を主体にして、病院薬剤師として、患者さんにとどの様な形で貢献していけるか、それを主体に考えていきたい。（薬剤部 上田謙一）
皆さんのお役にたてるよう。一日一日を大切にしたい。早く、薬剤師として皆さんのお役にたてるよう頑張りたいと思います。（薬剤部 渋谷真紀子）
信じ、信頼され、人を信じる事、人から信頼される事をモットーにして、喜んでもらえる仕事をしたと考えている。（社会医療事業部 今井勝憲）
明るく親切に、毎日が緊張の連続ですが、事務の大切さを認識し、患者さんには明るく親切に、をモットーに頑張りたい。（医事課 高倉聡子）
健康という幸福を、保健婦として地域医療チームに加わり健康という幸福を、地域住民と共に喜びあえるよう頑張ります。（看護部 山崎敦子）
みんなに負けず、新潟からこの病院に就職して、笑顔があり明るいという印象をもった。私もみんなに負けず笑顔で頑張ります。（看護部 和典典子）
患者中心の看護。看護短大を卒業、国家試験に合格。看護とは何かを常に問いつつ患者中心の看護が提供出来るよう努めたい。（看護部 石庭矢依子）
笑顔と誠意を、社会人として歩きだし西能病院の職員としての誇りをもち今日も笑顔と誠意を持って患者さんに接していきたい。（看護部 矢後幸枝）
先輩の指導で、整形外科の勤務は初めてなので、初心にかえり一つ一つ学びながら、先輩の方の指導と協力を得て看護したい。（看護部 大井美樹）
思いやりを忘れず、新採研修をおえ、慢性病棟勤務となった。経験を生かし、思いやりを忘れず、看護実践していきたいと思う。（看護部 楠美知子）
行動力と笑顔で、西能病院の職員となりチームワークを考え、活気に満ちた行動力と笑顔で、看護の道を進んでいきたい。（看護部 不破奈津子）
初心を忘れず、病める人に少しでも役立ちたいと看護学生の道を選びました。今の初心を忘れず、日々努力していきたい。（看護部 島滝葉子）
自分の行動に責任を、看護助手、看護学生の立場で、患者さんに信頼され自分の行動に責任が持てる様頑張りたいと思う。（看護部 杉山幸乃）
幅広い人間に、看護学生として、患者さんに信頼されるために、看護学、技術をしっかりと身につけ、幅広い人間になりたい。（看護部 広田妃都美）

新しい息吹きを

技術の向上と思いやり 活気を増した医局

診療部



医局での症例検討会

病棟の機関車とも云える医局は、内科2名、整形外科6名の常勤医師と、10名余りの外部からの非常勤医師の協力を得て、毎日の診療に精力的に活動している。4月からは、呼吸循環器科の吉野先生、整形外科の久保先生、伊嶋先生を迎え、医局は活気を増し、充実してきた。当面は、4月よりはじめた休日診療の対応が重要課題であるが、その他にも、地域医療の推進、研究活動の活性化、接遇改善、コンピュータ導入に伴う診療体系の見直しなど問題は多い。

一方、スポーツ医学、神経内科、泌尿器科、形成外科の専門外来をさらに充実させ、多くの患者さんのご利用を頂きたい。

医療技術の向上と思いやりの医療をキャッチアップに、院内各部との連携を密にして信頼される医療を目標として頑張りますので皆様の御支援を賜わりたい。

(診療部長・西能 勉)

病院だより

三月

十六日 准看護婦、准看護士認定試験合格者。坂下栄子、日又映子、舟見香織、佛田優子、金子昭典

四月

新入職員の 入職式

一日 五階ホールで新入職員十八人の入職式。信頼と奉仕の決意を固める。



(写真左)

一日 七日 小会議室で新入職員の研修会。十二日 五階ホールで退職者と新入職員の歓送

迎会。十二日 小会議室で誕生会。九人。

十四日 山本看護部長がのぶきの会の招きで、壮年の健康について講演。高岡市伏木公民館で。

十六日 五階ホールで健康教室。西能院長が「腰痛について」

患者さんが 花見の会

十六日 慢性病棟(看護部三階、津田勝美婦長)の入院患者さん二十四人が参加して午後から「花見の会」。松川ベリ、富山城跡公園を通過バスで遊覧、護国神社で下車、参拝し桜花の下で「春・桜」の歌を合唱、花見だ

奥さま 社会見学



にこやかな看護婦さん 隅々まで明るく清潔

暮らしに役立つ情報を学ぶ「奥さま社会見学」(富山新聞主催)の一行四十六人が五月十日午後、西能病院を訪れた。

五階ホールで、光里事務部長から病院の概要の説明を受けたあと、西能院長から「皆さん方のお役に立ち可愛がってもらうためには、いい医療を提供することが一番大事です。息子のよう育ててきた病院をよく見てやって下さい」の挨拶をうけた。

山本看護部長指導の「リズム体操」でからだをほぐしたあと、四班に分れ、職員案内で無菌手術室、病室、デイルー

んごなどを賞味。十七日 五階ホールでふれあい劇場「ニッポン無責任時代」

十八日 院長が滑川市民健康センターで「腰痛について」講演。

入浴車がテレビに

二十一日 NHKテレビ「イブニングとやま(午後六時)で、入浴車の入浴サービス」を報道。

二十一日 富山テレビ「スーパertimeとやま(午後六時)で「盛況」//休日診療」を報道。

二十五日 NHKテレビが、外来診療室で西能副院長から「骨粗鬆(しょう)症について」取材。(写真左)



二十八日 つぎの六人が国家試験に合格。渋谷真紀子(薬剤師)山崎敦子(保健婦)大浦春美、恒田喜代美、矢後幸枝、石庭矢依子(以上看護婦)

十日 小会議室で誕生会。十五人。

職員運動会

二十二日 興球場サブグラウンド(富山市五福)で職員運動会。

二十二日 五階ホールで、ふれあい劇場。「伊豆の踊り子」

二十八日 五階ホールで健康教室。星野医師が「アレルギーについて」

「五省会ニュース」は地域社会の皆さまの医療福祉向上に役立つよう務めております。医療、健康に関する要望や、身近な問題などについて投稿(相談含む)をお待ちしています。

休日返上の診療体制

休日の診療科目	曜日	午前の部	午後の部
整形外科科 リハビリテーション科 内科	日祝祭日	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 17:00
平日の診療科目	曜日	午前の部	午後の部
整形外科科	月~土	8:30 ~ 12:00	16:00 ~ 19:00
リハビリテーション科	月~土	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 19:00
内科	月~土	8:30 ~ 12:00	15:00 ~ 17:00 (火・金曜日は15:00~19:00)
スポーツ外来	毎週火曜日	※スポーツ障害の治療やスポーツ相談	15:00 ~ 18:00
神経内科外来	毎週木曜日		14:00 ~ 17:00
呼吸循環器科外来	毎週金曜日	※心臓病疾患、腎臓疾患でお困りの方はご利用下さい。	15:00 ~ 17:00
泌尿器科外来	毎月第2・第4土曜日		13:30 ~ 17:00
形成外科	毎月1回	8:30 ~ 12:00	※診療日は受付でおたずねください
在宅療養活動	毎週水曜日	※(在宅酸素療法を含む)	13:30 ~ 16:00



整形外科科
リハビリテーション科
内科

365日 年中無休 です



もし、救急車が必要でしたら、連絡して下さい。お迎えに上ります。常時2台待機しています。